



通信

HP 学校だより
R4. 12. 14
NO. 32
文責 伊藤美佳



子どもたちの切り替える力

先週、マラソン大会に向けてがんばって走っていた子どもたち。マラソン大会が終わるや否や、保健委員会による鬼ごっこ、なわとび・・・と別の運動に切り替わっています。

保健委員会が行った鬼ごっこ。低学年の部と高学年の部に分けて昼放課に行いました。昼放課にはなるべく自由な遊びを推奨していますが、この時は、みんなで鬼ごっこをして楽しんでいました。低学年の部が終わってから、「楽しかった」「またやりたい」という声をたくさん聞きました。自分の遊びとみんなで楽しむ遊びも切り替えができていてうれしいです。

また、2年生がおもちゃを作り、1年生を楽しませたいと会を開きます。招待状を作り、1年生の教室に向かう2年生は緊張の面持ちでしたが、「失礼します。2年〇組 〇〇 〇〇です。招待状を持ってきました。」としっかりした口調であいさつし、1年生に招待状を渡していました。教室に入るときは、先輩としての顔、出てきたときには安心した2年生の顔になっていました。1年生がとても楽しみにしていました。きっと、来年も「自分たちがやってもらって楽しかったから・・・」そんな思いが受け継がれていくことでしょう。



保護者会 ありがとうございます

12月14日(水)～16日(金)に保護者会を行います。保護者の方と教師が子どもの成長について膝を交えて話ができる大切な時間にできればと考えております。よろしくお願いいたします。

ところで、通学を見守ってくださっている地域の方とお話する機会がありました。「4月の時は、ランドセルを背負って通学すること自体が大変そうだった1年生が、今ではすたすたと歩いて登校しているのを見ると、成長したなあと感じるよ。」と言ってくださいました。子どもたちは、日々成長しています。その成長について周囲の大人が認めていくことができれば、子どもたちは更に成長していけると考えます。失敗もできなかったことも、次への成長のステップであると捉えていきたいです。失敗したということは、挑戦したということ。できなかったということは、どうしたらできるのか考える機会を与えてもらったということ。そういうポジティブな考え方を子どもたちには伝えていきたいです。どんなこともやってみなければスタートを切れません。家庭と学校が協力して、子どもたちがスタートをきるための力、チャレンジする力をつけさせてあげられたらと願っています。よろしくお願いいたします。